

平成29年度北海道運輸交通審議会（第2回）議事概要

- 1 開催日時 平成30年2月15日（木）14時00分～15時20分
- 2 場 所 センチュリーロイヤルホテル 20階 ノーブル
- 3 出席者 出席者名簿のとおり

4 議事概要

(1) 議事

- 以下について、事務局から説明後、意見交換
 - ・北海道交通政策総合指針（仮称）案について
 - ・北海道交通ネットワークビジョン（仮称）案について
- ※指針案及びビジョン案について、了承

(2) 主な意見

- 気候変動が進む中、一昨年台風や大雪のようなことが、毎年、起こる可能性がある。指針で災害対応の重点的な取組を期待。
- インターネットなどの技術で、乗り継ぎの確認など、情報を受け取りやすい環境整備を進めてほしい。
- ユニバーサルデザインやバリアフリーの整備を進めることで、一般の人にも役立つ環境ができる。
- 実現に向けた推進体制が大事であり、推進方策の主体の明確化を図るとともに、推進エンジンになる人を作っていくことが必要。
- 持続的な交通網に向け、マイカー、マイレール、マイバスの視点で、地域の応援も必要。地域自らも実行することが大事。
- 今回の指針を踏まえて、安全性の向上、安全基盤の再構築に一層取り組むとともに、利用者目線に立った取組を引き続き進めてまいりたい。
- 航空に関し、地域と地域の交流・往来といった連携を深めて、交流人口を増やしていくことが国際・国内線いずれにおいても重要。
- 今回の指針はシームレスがキーワード。連携しながら、ハードとソフトの両面で実現していくべき。
- 指針について、協働・連携して一体となって進めて行くことが必要。そのためには地域の理解に向けて、丁寧な説明、解ってもらう努力が大事。